

国大支部長 西村隆男 (S58 年卒) 記録 山本 光(H6 年卒)

横浜国立大学支部は、横浜市保土ヶ谷区常盤台の拠点を置いています。横浜国立大学支部の構成メンバーは、横浜国立大学教育学部または教育学研究科の OB および OG からなる組織です。平成 28 年現在の支部会員数は 42 名で、ホームカミングデーなどで活動をしております。

そもそも横浜国立大学教育学部は昭和 24 年 5 月 31 日に学芸学部として設置され、昭和 54 年 4 月には教育学研究科(修士課程)、そして平成 8 年 4 月は大学院連合学校教育研究科(博士課程)が設置されました。

教育学部設置後、平成 9 年 10 月 1 日に教育人間科学部に改組が行われ、学校教育課程・地球環境課程・マルチメディア文化課程・国際共生社会課程の 4 課程となりました。その後、平成 23 年 4 月に地球環境課程・マルチメディア文化課程・国際共生社会課程の 3 課程は募集を停止し、人間文化課程の設置がなされました。

この間に学芸学部から教育学部、そして教育人間科学部と名称が変更されてきました。そして平成 29 年 4 月からは、教育学部に名称が変更されて、課程も学校教育課程のみとなります。さらに教職大学院も設置され、教員養成や現場での実践が重要視されていきます。

再び教育学部となってからは、教育理論や心理学および教科内容などの座学に加え、教育実習を中心とした学校現場での学びを大切にしていきます。

一例として、大学 1 年生では、「教育実地研究」において、附属学校を中心として学

校現場の見学を行い、授業を観るとはどのようなものかを学びます。

続く学部 2 年生では、毎週金曜日に「スクールデー」を実施します。そこでは、「初等フィールドワーク」という名のコースを選択すると、学校現場で授業の構成方法や運営方法を学びます。この時に友松会のご協力を得て退職校長先生や指導主事経験者の先輩から助言をいただくことになっております。

さらに 3 年生では、春学期の 4 週間、教育実習を行います。ここでは、教育学部の全学生が附属学校や横浜市、川崎市、相模原市の協力校にて実習を行います。横浜国立大学の学生は協力校での評判もよく、積極的に児童とかかわる姿勢が評価されています。

最後に、学部の 4 年生では「教職実践演習」において、教員としての資質を確認します。例えば、ある教科の学生は短期集中型の実習を、現場の教員と協力しながら、授業の構想から実施、評価までを 3 日間連続で行います。これによって、教員としての自覚と自信を得て、現場へ巣立っていきます。

以上のように平成 29 年度以降は、学部改組によって名称が教育学部と戻りますが、旧教育学部とは全く異なり、積極的に学校現場へ行くことで、教師力を育成する学部へと大きく変貌いたします。今後とも友松会のご協力を得て教員養成に邁進してまいりますので、ご協力よろしく願います。